



静岡県立静岡聴覚特別支援学校（静岡聾学校）

学校だより

令和4年度第13号（令和4年10月24日発行）




涼しく過ごしやすい季節になりました。実りの秋、食欲の秋、読書の秋、スポーツの秋、芸術の秋です。屋外に出て、ぜひ秋を感じましょう。

10月6日（金）に予定より早く、学習棟の水道が使用できるようになりました。9月から約1ヶ月間は、教室の手洗いなどはポリタンクの水を使ってきましたが、蛇口から勢いよく出る水に、子供たちは嬉しそうでした。

11月末には学習棟すべてのトイレが明るくきれいで使い勝手の良いトイレになります。さらに、校舎外壁の改修工事や、体育館の照明取替、エアコン取替等の工事を控えています。校内が大きく変わるわけではありませんが、少しずつ新しいものになります。どうぞ御理解と御協力をお願いします。

11月5日（土）は学習発表会です。昨年度はコロナ禍で動画による配信とさせていただきますでしたが、今年度は、家族の皆様や学校運営協議会の皆様に御案内したとおり、感染症対策をしてステージ発表（午前）を行います。御協力をお願いします。午後は、消防隊による演奏を計画しています。


 ハロウィンは、私が子供の頃は無かった（知らなかった）ですが、今では一大イベントになっています。静岡市内でも、カボチャのお化けを飾った電車やバスが走っています。また、商業施設などでも、ハロウィンにちなんだ飾り付けや、美味しそうなお菓子が並んでいます。

ハロウィンは、古代ケルト（アイルランド）のドゥルイド教のサウィン祭が起源とされ、古代ケルトでは11月1日が新年で、大晦日の10月31日の夜は先祖の霊が戻ってくると信じられていました。そのときに悪霊も一緒にやってきて、作物に悪い影響を与えたり子供にも悪いことをしたりすると言われていて、悪霊から身を守るために、仮面や仮装をして悪霊の仲間に見せかけたそうです。



年月を経て、今では子供も楽しめるイベントに変化しました。

ハロウィンのシンボルは、カボチャのランタン（目と口、鼻をくり抜いて中にキャンドルを灯す）で、アイルランドで

 は、カブだったそうですが、アメリカに伝わってからカボチャになったそうです。

みなさんも楽しいハロウィンをお過ごしください。



校長 松本仁美